

かくだ

Kakuda city

市議会だより

第167号

平成24年8月1日



▲教育厚生常任委員会による除染現場視察のようす
(平成24年6月29日「桜小学校」にて)

■ おもな内容 ■

第362回定例会	2～6
◇本会議の概要	2
◇議員表彰	2
◇審議結果一覧	2
◇一般質問	3～6

◆議会のライブ中継が始まります	7
◆9月定例会日程(予定)	8
◆議会日誌	8
◆編集後記	8

補正予算議案など 12議案を審議しました

第362回定例会は6月4日に招集され、市長提出議案が10件、議員提出議案が2件、あわせて12件の議案を審議しました。上程された議案は慎重に審議し、18日間の会期を経て6月21日に閉会しました。

本会議

◎第1日(6月4日)
会期を18日間と決定した後、平成23年度角田市一般会計繰越明許費繰越計算書及び平成23年度角田市一般会計事故繰越繰越計算書等の報告がありました。

その後、市長から上程した議案の提案理由の説明があり、専決処分2議案については、表決の結果、原案のとおり承認されました。

◎第2日(6月11日)
初日に提案された議案に対し、柄目孝治議員、八島定雄議員、日下七郎議員の3名が質疑を行いました。

◎第3日(6月18日)
平成24年度一般会計補正予算など8議案について審議し、表決の結果、原案のとおり可決されました。

(3〜4ページ参照)

◎第4日(6月19日)
前日に引き続き、5名の議員が一般質問を行いました。(4〜6ページ参照)

◎第5日(6月21日)
市長から2件の専決処分に

ついて報告がありました。その後、日下七郎議員を提出者とする生活再建に至らない東日本大震災被災者の医療費自己負担免除の継続を求める意見書及び渡邊誠議員を提出者とする基地対策予算の増額等を求める意見書の議員提案があり、表決の結果、原案のとおり可決されました。審議結果は、表1のとおりで、審議された議案の主なものは次のとおりです。

主な補正予算の概要

▼一般会計(第1号)
歳入歳出補正総額は、5,773万5千円。県支出金及び繰越金が歳入の主なもので

表1
第362回定例会 審議結果一覧
議員数は18名。議長は表決に加わらないため、表決に参加した議員数は17名。(○…賛成、×…反対)

件名	議決年月日	議決結果	会派				
			クラブみんしん	政友会	市民クラブ	日本共産党角田支部	無党派
市長提出議案							
角田市市税条例の一部改正について	6月4日	承認	○	○	○	○	○
角田市国民健康保険税条例の一部改正について							
一般会計補正予算(第1号)	6月18日	可決(賛成15 反対2)	○	○	○	×	○
平成24年度補正予算							
介護保険特別会計補正予算(第1号)	6月18日	可決	○	○	○	○	○
公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)							
農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)							
水道事業会計補正予算(第1号)							
条例							
角田市印鑑条例等の一部改正について	6月18日	可決	○	○	○	○	○
角田市市民センター条例の一部改正について							
その他							
宮城県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	6月18日	可決	○	○	○	○	○
議員提出議案							
生活再建に至らない東日本大震災被災者の医療費自己負担免除の継続を求める意見書の提出について	6月21日	可決	○	○	○	○	○
基地対策予算の増額等を求める意見書の提出について							

◆特別表彰
(議員在職二十年以上)
小島 正 議員
伊藤 善 昭 議員
(副議長四年以上)

条例の部改正の主なもの

▼角田市市税条例
◎東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る譲渡制限の延長
居住用財産の買換え等の場合の譲渡損失の損益通算及び繰越控除の特例等について、大震災により居住用家屋が滅失した場合には、当該居住用家屋の敷地に係る譲渡制限を7年(現行3年)に延長されました。

居住年が平成25年
2,000万円↓3,000万円
控除率
居住年が平成23年から平成25年
1.0%↓1.2%
5月23日、東京都日比谷公会堂において、第88回全国市議会議長会定期総会が開催され、同会会長から次の方が表彰されました。

一般質問



高齢者福祉対策事業の向上について

湯村 勇 議員

議員▼高齢者福祉の向上に努むる。特別養護老人ホームの整備が、第5期角田市介護保険事業計画において、100床程度の新設を計画しています。高齢者の生きがいづくりについては、老人クラブ活動や生きがい

デイサービス事業、高齢者サロン等社会参加の場を多く提供していきたいと考えています。議員▼現在、入所したくても入所できない施設が、待ちどけ状態です。また、一人暮らしの高齢者の生活が、家族の負担が大きいと感じています。市長▼特別養護老人ホームの整備ですが、第5期角田市介護保険事業計画において、100床程度の新設を計画しています。高齢者の生きがいづくりについては、老人クラブ活動や生きがい

るいは固定の度合い等の細かい要望にはなかなかこたえ切れません。今後とも民生委員や地域包括支援センター等と連携しながら委託業者と協議し、適切かつ円滑なサービスの提供に努めたいと考えています。議員▼7月1日よりごみが有料になり、不法投棄が懸念されています。市長▼不法投棄は、罰金10万円以下、または5年以下の懲役、またはその併科です。議員▼ごみ有料化に伴う今後の対策について



県道越河角田線の小田川沿いに桜並木を整備する考えについて

小島 正 議員

議員▼アメリカと日本の友情を深める花として、ワシントンのポトマック河畔の桜が有名です。ワシントンのポトマック河畔の桜について、市長はどのような感想をお持ちですか。市長▼全米から多くの観光客が訪れるなど世界の名所の一つに数えられる場所だと伺っています。写真で見られる光景は、水辺とのマッチングもあり素晴らしい桜の名所であるように思います。

議員▼交流人口100万人都市への挑戦を考えたとき、角田市を訪れた方々に对小田川沿いに桜の木を無償で1本ずつ植樹していただく。そして、桜には名札をつけて表示する。このことで、植樹された方々が次に角田市を訪れる日を楽しみにしていただけると思うが、どうですか。市長▼桜の植樹はいい提案だと思えます。ただ、

現在、小田川とその周辺につきましては河川の改修をはじめ橋や市道の改良も予定されています。また、今最優先して行っていかねばならない事業なのかどうかも含め、可能性を探ってまいります。議員▼被災地復興のために小田川沿いに桜並木の整備を実現して欲しいと願っていますが、小田川の管理者である宮城県と早期に協議する考えはありますか。市長▼河川改修が行われる小田川ですが、桜の木は植樹スペースが確保できるかどうか、現在ではわからない状況です。河川管理者・道路管理者である宮城県に確認したいと思っています。

議員▼赤生ため池の土砂撤去について
議員▼赤生ため池の土砂撤去の予定はいつ頃になりますか。市長▼赤生ため池の土砂撤去については、現在、土砂が堆積したらしゅんせつするというところに対応していきたいと考えています。将来的な管理体制につきましては、現在の改修事業の進捗状況を見据えながら、時期を見て関係機関と協議・検討をしながら対応したいと思えます。

議員▼小島議員その他の質問
◎台山公園の拡張について
◎林道の新設について



通学路での安全対策について
馬場道晴 議員

議員▼現在、全国で登下校中の子供たちが襲う痛ましい交通事故が相次いでおり、その対策として5月30日に文科省、国交省、警察庁交通局より、通学路における交通安全の確保に向けた通達が出されました。この通達を受け、これからの本市の対策について伺います。

市長▼全国では、本年4月以降、登下校中の児童等が巻き込まれ死傷者が発生する痛ましい事故が連続して発生しており、これを踏まえ、学校の通学路の安全に関する文部科学大臣緊急メッセージが、平成24年5月8日付で宮城県教育長を通じて通知があり、翌5月9日には、市内小中学校に対し通学路の安全確保について周知をしてい

ます。議員から指摘があった通達を受け、市内小中学校に対し、学校の危険箇所等の抽出依頼を行っており、その報告等を踏まえ、学校、保護者、道路管理者及び警察署による合同点検を8月末までに実施、調整し、県に報告します。対策等が必要となった危険箇所等については、関係機関と連携・協議しながら対策メニューを作成し、本年12月までに県に報告します。作成した対策メニューについては、道路管理者等と連携するとともに、地元住民との調整を図りながら対策案を作成し、道路管理者等に要望を行うなど、対策案に従って計画的に実施して行きます。これまでも市内各学校では、見守り隊等を初めとする防犯ボラ

ンティアによる主要通学箇所での見守り活動や、角田市交通安全指導隊による交通安全指導等を定期的に実施して頂いており、悲しい児童等の事故がなくなるよう、今後もおな一層各団体等とも連携をとりながら通学路等の安全確保に努めます。議員▼通学路の安全点検をする場合、放射線の測定、ホットスポット等もあると思います。これもあわせてぜひ行うべきだと思いますが、市長の考えを伺います。

市長▼この通学路の安全点検の際に、放射線の測定もあわせて行うという御提案ですが、そのとおりだと思ひ担当課と調整している段階です。【馬場議員への他の質問】○有害鳥獣駆除「わな特区」について

議員▼平成26年度供用開始予定の常磐高速道にSICの誘致・要望に至った経緯と、これを活用してどのような将来展望を描いて見えますか。また、誘致実現の見通しについて伺います。

市長▼小斎峠を東に下った坂元地区の県道角田山元線南側にSICを整備し、災害時や緊急時の輸送道路としての活用と坂元地区や角田市、丸森町への交通結節点として利便性の向上が期待できます。地域活性化や安全で快適なまちづくりにも寄与することから、山元町だけでなく角田市、丸森町の3市町で推進を図ることにしました。この整備により、角田市枝野地区、丸森町小斎地区にとつては地域活性化や高速交通への利便性が一段と向上し、接続される県道等の整備促進や緊急時における輸送路の確保など、多面的な効果が期待できます。また将来展望を描く段階には至っていませんが、東北地方整備局からは、設置目的に沿ったものとの評価を受けており、ネクスト東日本の感触も悪くないと伺っています。相馬・山元IC間の平成26年度開通予定に合わせ、供用開始したい計画のようです。

議員▼通勤時間帯の県道角田山元線と枝野小学校東の市道三口線では、制限速度を大幅に上げるスピードで走り抜ける車が後を絶ちません。大雨ごに浸食され、大雨ごに深くなると枝野1区は溝に、猛スピードの車を避けて転げ落ちる通学児童もいます。この側溝は大雨時に県道路面を越え川に流れ下る危険な排水



放射能から市民の健康を守る対策について

八島定雄 議員

議員▼放射性物質除染の実施状況等の進捗状況について、市民の方々に説明する機会を今年度中に持つ考えがありますか。市長▼そこまではまだ考えていませんが、その放射線に関するいろんな知識を皆さんに持っているだけのための講習会、講演会は予定しています。それ

れに合わせる形で、この実施結果等について説明させていただく機会が同時に設けられればと思います。議員▼低線量被曝問題では、将来起こるかもしれない晩発性障害に対し、できる限り防護のための準備をすることが大切で、子供の健康調査は喫緊の課題です。健康調査を実施する考えはありますか。市長▼現時点では健康調査は実施せず、国や県において健康調査が必要であると判断された時点で迅速に対応します。一方、東北大学の協力により検査体制が確立されつつあるというお話も聞いています。その体制が整えば、希望に応じて検査していくことも可能になるのではないかと考えます。現在、東北大学の機関という相談させていただいている段階です。議員▼健康疫学調査、そして今後、補償問題が出てきたときに健康調査をしていないと、ほかの必要因とかぶさってわかりにくくなる。今こそ健康調査が大事と考えます。どうですか。市長▼現実的な対応は、なかなか理屈どおりには

いきません。健康に影響を及ぼすことです。確かに健康調査を進めるべきだと私も思います。しかし、そういう体制がない状況にあることをご理解ください。やはりこれは、国の責任において進めるべきだと考えます。議員▼保育所、学校給食のすべての食材を事前に検査し、その結果を保護者に対し、お知らせするなどして安心していただく考えはありますか。市長▼すべての食品を検査し保護者の皆様にお知らせすることは、入荷する食材が保育所及び学校給食それぞれ20品目から40品目とかなりの種類であること、また検査時間や入荷する生鮮食材等の品質等を考慮しますと、現状での実施は極めて困難です。現在、保育所、学校給食は事前検査の品目を増やすなど、できる限りのあらゆる方法を用いて子供たちの安全で、安心な給食の提供に努めています。【八島議員への他の質問】○たばこ対策について

議員▼地震のあと使用できない状態になっている市民センター大ホールについて、今年の秋より体育館の解体、そして3年弱後には使用可能になると認識しています。オリンピックまで3年弱の月日があり、少し早いです。この時期にあえて質問をさせていただきます。まず、修繕計画について質問します。市長▼完成後、通常の維持管理費だけでなく、建物本体や個々の設備機器の定期メンテナンス及びそれぞれの耐用年数等を考慮し、想定される費用を計上した維持管理計画を策定することになっています。維持管理計画を基本に、毎年、時点修正を加えながら計画的に事業費を計上して行きます。特に市民センターは防災機能をあわせ持つ施設であり、長期的・計画的な保守管理は欠かせないものと考えており、このこ

とは既存の施設についても同様です。議員▼命名権の販売について質問します。市長▼全く可能性がないわけではないと思います。市民の皆様が御意見を参考にしながら、検討していきたいと考えています。議員▼使用料の設定について質問します。市長▼現行の使用料や減免制度の抜本的な見直しが必要となると考えています。使用料見直しの過程では、稼働率を意識しながら適正な使用料金の検討に入りたいと考えています。議員▼稼働率の向上について質問します。市長▼使用料の見直しや舞台設備操作等の特殊性により、利用者が減少する可能性もあります。これまで利用していた団体の元要望事項について



新設される市民センター大ホールについて
小湊 毅 議員

議会のライブ中継が始まります

(ご自宅のパソコンで視聴できます)

角田市議会では、市民にわかりやすい開かれた議会を目指しており、このたびその一環として、平成24年9月定例会より、インターネットを利用した角田市議会の生中継映像をご覧いただけるようになりました。

また、「市役所東庁舎1階市民ホール」及び「各自治センター」のテレビでも視聴できますので、ぜひ、ご覧ください。

なお、各自治センターテレビでの視聴を希望する方は、自治センター事業との関係から、事前に各自治センターにお問い合わせください。

アクセスが集中した場合やご使用になるパソコン及び接続環境によって、議会中継の映像をご覧いただけない場合があります。

●パソコンでの操作手順について

「角田市のホームページ」→「市議会情報」→「角田市議会ライブ中継」→「生中継を見る」

●パソコン環境について

windows パソコン、Mac パソコンに対応しています。

映像をご覧いただくには「Windows Media Player」が必要です。

(Windows Media Player 9以降を推奨)

●接続回線について

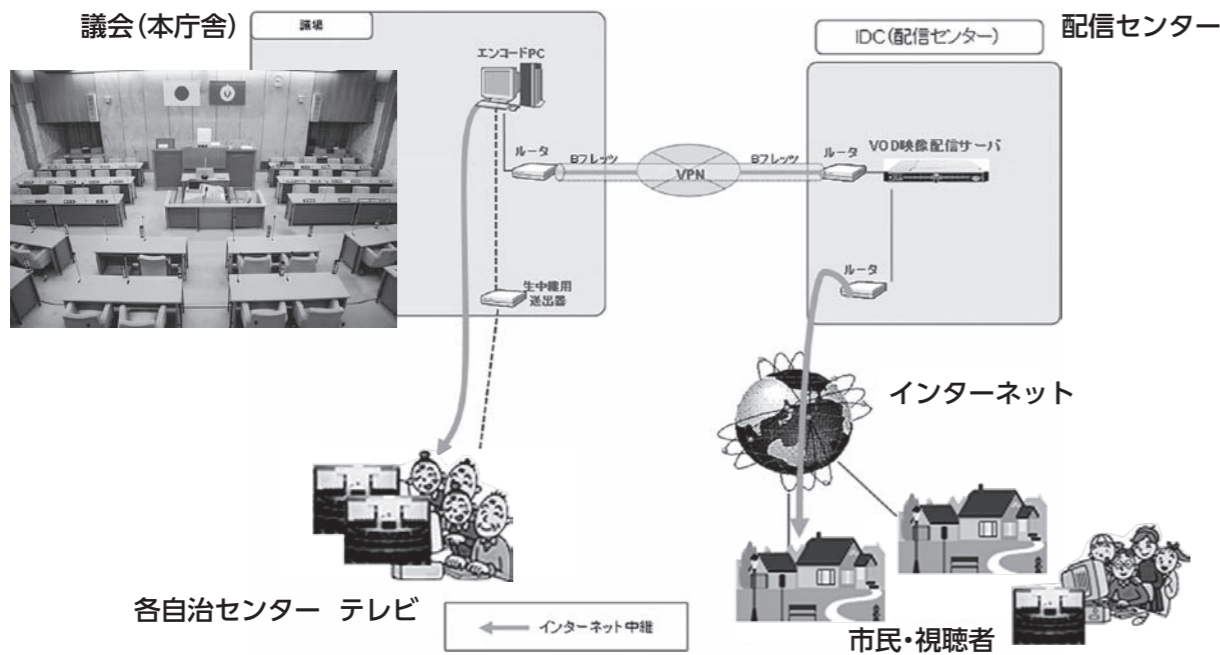
インターネットへの接続はFTTH(光ケーブル回線)、ADSLなどのブロードバンドアクセス回線(500Kbps程度以上の接続環境)で、ご覧いただく事を推奨します。

●ブラウザなどの環境について

レイアウトや表示・機能を正常にご覧いただくには、Microsoft Internet Explorer 7.0、Firefox4.0、Safari4以降をご利用ください。

ブラウザソフトによっては、レイアウトや表示・機能が正常に行われない場合があります。

●携帯電話(スマートフォン含む)での視聴はできません。



第361回定例会、一般質問の答弁後の事務執行について

日下七郎 議員

議員▶(1)旧石川重機跡地の占用については、「顧問弁護士と今後どういった対応をしていくのか相談したい」と思っているところですが、「市の市長答弁でしたが、答弁後の事務執行について伺います。市長▶前回の答弁から3カ月が経過してはいますが、先方からは拒否されたままで、話し合いの機会がつかれない状況です。また、顧問弁護士とは事前に資料などを送り、これまでの経過を中心に説明し、対応を検討している段階です。

議員▶市と土地所有者との境界を明確にすることが先決であって、これまでに話し合いが実現しない現状を考えれば、司法の場以外にはないと思いません。市長▶これからの進め方については、目下議員が発言している司法の場は最終的な手段であろうと

思っています。やはり話し合いで解決できれば、それが一番良い方法です。から、近いうちに連絡をとり担当課で会いに行きます。議員▶(2)市道(舗装)の凍上災について、凍上災害復旧の補助申請はどのようになっていますか。市長▶被災状況を調査した結果、今回の凍上災申請については、2路線2カ所、延長2.2キロメートル、被災額は8,600万円となり、現地災害査定が7月から8月にかけて実施される予定となっております。議員▶凍上災の対象になるのは2路線とのことですが、市道全体での傷みはどの程度ですか。土木課長▶市道全体で約580キロメートルです。調査したところ亀甲状の状況にアスファルトが壊れている路線は26カ

議員▶設置の趣旨・成果・今後の進め方について伺います。教育長▶人間形成の基礎が養われる幼児期の子供たちの保育・教育を充実させる必要があることから、平成23年に、その諸課題、教育的課題について考える「幼児教育懇談会」を発足させました。メンバーは、市立の幼稚園、私立の幼稚園、市立



平成23年から始まった幼児教育懇談会について

渡邊 誠 議員

議員▶結婚の推進について行政が積極的に関わることを伺います。市長▶非婚化や晩婚化は少子化にも大きく関わる社会的な問題であり、行政としても結婚を推進することとはとても大切なことだと認識しています。本市では、財団法人宮城県青年会館内の結婚情報サービス業務を手がけているみやぎ青年交流推進センターに加盟することで結婚推進に関わっています。その結果、年

の保育所、児童館、児童センター、市立の小学校等に籍を置く先生方、職員の皆様方、助言者である宮城教育大学教授等です。これまでの成果で、このようなメンバーで一堂に会するということも画期的であったと自己評価しています。それぞれの立場から各施設の現状及び子供やその保護者の様子などについて忌憚のない情報交換等を通して問題・課題を共有することができました。今後はこの中から、将来構想めいた意見なども出てくるかもしれませんし、同時に、私どもの立場、行政の立場として何が求められるのかということもあわせて考えたいと思っています。議員▶(3)農業政策について市長▶本市農業の基本理念である「暮らしと命を守る農業」の推進のため1点目は、人・農地プランの趣旨のもと、農地の面的な集積による農地利用集積化を図り、生産性の高い土地利用型農業を推進することにも、将来の角田の農業を支える認定農業者や青年農業者等の経営感覚にすぐれた担い手の確保・育成支援を図ります。2点目は、耕畜連携による資源循環型農業を展開します。3点目は、角田の誇る農畜産物を活用し、さまざまな産業分野に連動する戦略的な産業振興を図ります。

市議会9月定例会

日程(予定)のお知らせ

- 8月29日(水) 招集告示
会派代表者会議
- 31日(金) 議員協議会
議会運営委員会
- 9月5日(水) 本会議(提案理由の説明)
会派代表者会議
正副常任委員長会議
- 6日(木) 議会運営委員会
- 11日(火) 常任委員会(請願審査)
- 12日(水) 本会議(質疑・自由討議)
決算審査特別委員会
- 13日(木) 決算審査特別委員会
- 14日(金) 決算審査特別委員会
会派代表者会議
- 18日(火) 決算審査特別委員会分科会
- 19日(水) 決算審査特別委員会分科会
- 20日(木) 常任委員会(議案審査)
- 21日(金) 常任委員会(議案審査)
- 24日(月) 決算審査特別委員会
議会運営委員会
- 25日(火) 本会議(討論・表決・一般質問)
会派代表者会議
- 26日(水) 本会議(一般質問)
議会運営委員会
- 27日(木) 本会議

※ 請願及び陳情等の提出期限は、8月29日(水)までとなります。

※ 本会議の開会時刻は、午前10時です。

議会を傍聴しませんか。

定例会は、年4回開催されます。皆さんの身近な問題が審議されており、どのような方針で市政が進められていくのか知ることができます。

お気軽に足を運んでみませんか。

また、インターネットを利用したパソコン、各地区自治センターのテレビ及び市役所東庁舎1階の市民ホールのテレビでも議会中継がご覧になれます。

※ 日程は変更される場合がありますので、傍聴を希望される場合は、議会事務局(☎63-2124)にお問い合わせください。

傍聴者数 第362回(平成24年6月)定例会 45名

議 会 日 誌

- | | | | | | |
|-----|------------------|-----|------------------------|-----|---------------------------------|
| 1日 | 市議会だより166号
発行 | 26日 | 会派代表者会議 | 25日 | 岩手県奥州市議会議会
改革検討委員会行政視
察 |
| 5月 | | 4月 | | 10日 | 角田市農業の館の管理
運営に関する調査特別
委員会 |
| 31日 | 議員協議会 | 22日 | 議会運営委員会 | 21日 | 会派代表者会議 |
| 28日 | 第362回定例会招集
告示 | 23日 | 全国市議会議長会定期
総会 | 20日 | 角田市農業の館の管理
運営に関する調査特別
委員会 |
| 24日 | 市議会議員共済会代議
員会 | 22日 | 議会運営委員会 | 19日 | 議会協議会 |
| 14日 | 会派代表者会議 | 4日 | 第362回定例会本会
議(第1日) | 18日 | 本会議(第3日) |
| 11日 | 会派代表者会議 | 5日 | 議会運営委員会 | 17日 | 議会協議会 |
| 5日 | 本会議(第2日) | 11日 | 会派代表者会議 | 16日 | 本会議(第2日) |
| 6月 | | 7月 | | 15日 | 議会運営委員会 |
| 14日 | 会派代表者会議 | 12日 | 議会だより編集会議
議会運営委員会 | 21日 | 本会議(第4日) |
| 11日 | 会派代表者会議 | 29日 | 議会だより編集会議
教育厚生常任委員会 | 19日 | 本会議(第5日) |
| 5日 | 本会議(第1日) | 21日 | 議会運営委員会 | 18日 | 本会議(第3日) |
| 6月 | | 7月 | | 17日 | 議会協議会 |
| 14日 | 会派代表者会議 | 12日 | 議会だより編集会議
議会運営委員会 | 16日 | 本会議(第2日) |

編集後記



第362回定例会(6月定例会)は、6月21日で閉会しました。市長提出、議員提出の全議案を原案とお可決し、一般質問では8人の議員が登壇してあります。今回の一般質問では、市長から議員に対する『反問権』が5回程使われ、活発な議論が展開されました。また、会期中に角田市除染実施計画について、環境大臣から承認を得たとの報告があり、いよいよ本格的に除染作業が始まること示されました。東日本震災からの復旧・復興と放射能汚染対策については議会としても、今年の重点課題として、しっかり取り組んでまいります。

最後にお知らせです。今年の9月定例会から議会の生中継をインターネットで配信する予定です。ご家庭のパソコン等で視聴できるようにいたしますので、ぜひご覧ください。

今後も『開かれた議会』を目指し、さまざまな取り組みをしてまいります。

議会だより編集会議